



病院だより



発行: 公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住所: 東京都福生市加美平1-6-1 <https://www.fussahp.jp>

公立福生病院の専門看護師・認定看護師のご紹介

今回は、様々な専門領域の知識を持ちながら実践している看護師についてご紹介いたします。公立福生病院には、日本看護協会が認定する「**専門看護師**」2名と「**認定看護師**」9名が所属しています。それぞれの専門領域において、学び深め、スペシャリストとして実践しています。院内外問わず活動し、ご希望に応じて地域の医療機関や介護保健施設などで出張研修も行い、地域貢献に寄与しています。まずは、「**専門看護師**」「**認定看護師**」それぞれの役割についてご説明いたします。

専門看護師

6つの役割があり、患者さんへの直接的なケアの他に医療スタッフの支援や調整を行うなど、問題に対して、幅広い視点で活動を行っています。また、看護学の向上を目指し、研究や教育活動を行い保健医療福祉の発展に貢献することが使命です。



認定看護師

3つの役割があり、主に患者さんへの直接的なケアを行うことが中心として活動を行っています。また看護スタッフに対し、ケアについての相談や指導を行い、いち早く問題解決につなげていくことができるように活動を行っています。



私たち「**専門看護師**」「**認定看護師**」は、それぞれ、常に最新の知識を持ちながら、患者さんやご家族に対しても、直接、ご相談に乗ることが可能です。病気のことだけではなく、病気を抱えながら療養する上でお困りのことや、不安なことがあれば、各「**専門看護師**」「**認定看護師**」の相談内容の具体例を参考にどうぞお気軽にご相談ください。誰に相談したら良いのか分からない場合でも、以下の「総合相談」にて、検討いたしますので、ご遠慮なくお声かけください。

	分野	相談内容の具体例
専門 看護師	慢性疾患看護	慢性腎臓病をはじめとする生活習慣病に関する生活支援 腎臓病に関する意思決定など
	がん看護	納得して治療を受けたいなど、がんの治療や症状に関すること
認定 看護師	訪問看護	ご自宅・施設での安定した療養についての相談 在宅医療や介護についての具体的な相談 ご自宅への訪問も行います
	皮膚・排泄ケア	人工肛門・人工膀胱に関すること
	感染管理	感染症とへの対策に関すること
	がん化学療法看護	化学療法に関する疑問や不安、副作用の対処方法など
	緩和ケア	痛み・その他の苦痛症状、心のつらさなど 家族の心のつらさ、死別後の悲しみなど
	糖尿病看護	糖尿病に関する疑問、不安など
	乳がん看護	乳がんに関する治療の選択やライフスタイルについての相談 手術後の下着や、むくみに関する相談をお受けしています

曜日：月曜日～金曜日

(年末年始祝日を除く)

時間：午前8時30分

～ 午後5時15分

連絡先：電話番号 042-551-1111 (代表)

<総合相談>

(入院中の方は、病棟看護師へおたずね
ください)

レスパイト入院のご案内

- ・ご本人が一人暮らしに疲れてしまった・・・
- ・介護者が疲れてしまった、休みたい・・・
- ・介護者の病気やけが、旅行、冠婚葬祭などの事業で一時的に在宅介護が難しい・・・

そんなときは

レスパイト入院

レスパイト入院とは

レスパイトとは「休息」、「息抜き」と言った意味の言葉です。在宅介護・医療を受けているご本人やご家族、介護者が安心して在宅生活を継続できるよう支援を目的とした短期入院です。

当院では、レスパイト入院の受け入れを積極的に行っております。

対象者

○医療措置や介護が必要な方

透析（腹膜・血液） ストーマ（人工肛門・人工膀胱） 在宅酸素・痰吸引 気管切開
神経難病（パーキンソン病など） 点滴 胃瘻・腸瘻・経鼻での経管栄養 褥瘡処置
麻薬の管理（緩和ケア）など 日常生活動作（歩行、排泄、食事など）に支援が必要な方

○介護保険によるショートステイの利用が難しい方

ご利用にあたって

- ・入院期間は、原則 14 日以内となっております。
- ・入院日数分のお薬とお薬手帳をご持参ください。
- ・各種検査、リハビリ等については必要に応じて対応いたします。
- ・他の患者さんにご迷惑となるような行為があった場合、ご利用希望期間内であっても退院していただくことがあります。
- ・医療保険の適応となります。

主治医・ケアマネジャー・訪問看護師等を通して、事前にご相談、お申し込みが必要になります。

レスパイト入院の詳細については、以下 QR コードをご確認ください。





○公立福生病院公式 Instagram

院内の様子や当院で働く職員の様子を発信しています。
よろしければ、フォローお願いします。



オンライン資格確認システムについて

当院は、マイナンバーカードを保険証として利用できるオンライン資格確認に対応した医療機関です。

オンライン資格確認とは

医療機関や調剤薬局で、マイナンバーカードを利用して、患者さんがどの健康保険に加入しているのか、その健康保険資格が有効かどうかなどの確認ができる仕組みで、厚生労働省が推進しています。

当院では、専用システムを導入することにより、マイナ保険証（健康保険証利用登録されたマイナンバーカード）をかざすだけで、必要な情報の確認ができるようになりました。

患者さんが同意することにより、今までに使った薬剤の情報や特定・高齢者健診情報、そのほか必要な診療情報を取得・活用して診療を行うことができます。

正確な情報を取得・活用するため、マイナンバーカード（マイナ保険証）の利用にご協力をお願いいたします。

マイナ受付
対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナンバーカードが保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと

- POINT 01 より良い医療が可能に！
初めて医療機関等で、薬剤情報等の閲覧権限を授けられ、今まで使った薬の情報が共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。
- POINT 02 手続きなしで限度額以上の一時的な支払いが不要に！
高額療養制度認定証がなくても、高額療養制度における限度額を超える支払いが免除されます。

このステッカーが目印！

事前に登録するだけで利用できます！

詳しくは [マイナポータル](#)

マイナ保険証のメリット

1

健康保険証として利用できる

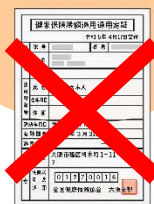
健康保険証の持参、提示が不要になります。



2

手続きなしで限度額を超える一時的な支払いが不要になる

限度額適用認定証がなくても、高額療養制度における限度額を超える支払いが免除されます。



3

より良い医療が可能になる

今までに使った薬剤の情報や特定・高齢者健診が医師等と共有できます。



※当院では、スマホの保険証には対応しておりません。
マイナ保険証（マイナンバーカードの保険証）をご持参ください。



小児科のご案内



小児科は出生時から中学校卒業相当年齢のこどもたちの内科的疾患を診療対象とした診療科です。原則としてわずか 15 年間で担当ですが、成長期にあるこどもたちの「からだやこころ」は多種多様な不調を抱えがちです。そのこどもたちを、そしてその家族を支えていくことが私達の主な業務です。そのため、小児科医とひとことでいっても多岐にわたる診療スキルが必要とされます。

当科では各方面のエキスパート小児科医を配置し外来診療および常勤スタッフによる入院管理を可能にしています。また院内にとどまらず、近隣担当地域の小児保健・外来診療補完業務を行い、地域包括的な医療をめざしています。全国的に小児人口数は減少傾向にありますが、それだけにひとりひとりのこどもたちが元気に過ごすことができるように支える力になっていこうと思っています。

以前から力を入れています「腎疾患外来」および「こころとからだの外来」を中心に、従来スタッフに加えて、本年度から本格的にスタッフとなった新生児領域診療に長けた本間英和医師とともに診療を行います。各種外来の受診の相談に関しましては、当院医療連携室および小児科外来までお問い合わせください。



小児救急医療体制について

当院では平日の夜間に、下記のとおり小児患者さんの救急外来を行っております。

<診療日時>

毎週火・水曜日（祝日・年末年始を除く）

受付時間 18 時 00 分 ～ 21 時 45 分（診療終了は、22 時 00 分までとなっております。）

受診を希望される場合は、救急外来にお電話いただいからの来院をお願いします。

<連絡先>

042-551-1111（公立福生病院 代表電話番号）

詳細は、当院ホームページをご確認ください。

平日夜間・休日
小児救急外来について

